

事業所名

(成長支援型) 児童デイサービス りるとわか葉

## 支援プログラム (児童発達支援)

作成日

令和7 年

3 月

5 日

法人 (事業所) 理念		誰一人取り残さない地域社会の“ライフライン”となります。					
支援方針		児童ひとりひとりの強みを活かすストレングス視点でもともと持っている強みを“見つけ”“支え”“伸ばしていく”。目標をスモールステップで設定し、児童の充実感、達成感を育み、自己肯定感を高めていく。					
営業時間		9 時	30 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活を送るために必要な、挨拶、着替え、清潔などのスキルが身につくよう支援する。</li> <li>・児童のスケジュール把握にホワイトボード、絵カード等を準備し見通しがもてるようにし、活動の切り替えの際も、絵カードやタイマーを使い見通しを持って不安なく過ごせるよう支援する。</li> </ul>					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常駐する専門職による個別リハビリ、スウィングやトランポリンなどを用いた感覚統合療法を行うことにより、感覚情報を適切に処理できるよう促し、児童が楽しみながら感覚統合する力を育てる。</li> <li>・姿勢・運動・生活動作の向上および持っている感覚を総合的に活用する力がみにつくよう支援する。また、物を掴む、物をつまむ、ハサミを使うなど指先の細かい動きも支援し身につけていく。</li> </ul>					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちが不安定になった際に自分の気持ちの理解、適切な行動ができる様に視覚的なツールの活用、クールダウン室の準備、リラックスする方法の獲得など、児童一人一人に合ったサポートや環境を整えていく。</li> <li>・形、色、大きさなど様々な基準で物を分類する、2つの物を見比べ違いを見つける、数を数えたり量の比較をする活動などを行い認知力や思考力を養っていく。</li> </ul>					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本や玩具などを通し文字や文章に興味を持ち、読み書きや語彙力の向上を促していく。</li> <li>・言語の理解、表現、コミュニケーション能力の発達を支援し周囲の人と円滑なやり取りができる力を養っていく。</li> </ul>					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面に応じた適切な行動ができるよう職員がまず模範となり、状況ごとに適した行動を学ぶ機会をソーシャルスキルトレーニングなどを通し学び支援していく。</li> <li>・順番を守るなど集団の中でルールを守り、協力して活動する力を支援し養っていく。</li> </ul>					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して子育てができるよう、保護者同士が交流する場「コミュると」を年に3～4回開催。</li> <li>・家庭や幼稚園・保育園など日常での困りごとに対して相談援助を行う。</li> </ul>			移行支援	登園する園や幼稚園、移行する機関と連携をとり、協力し合って支援していく。支進級、進学など、次のステージへのステップアップに向けた適切な準備とサポートを行っていく。	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所や役場などと連絡をとりあいながら、地域全体で支援体制を強化していく。</li> </ul>			職員の質の向上	FC・直営事業所合同研修、人間力研修、症例検討会、法定研修、感染予防、防災、虐待防止、身体拘束等に対する研修と訓練を定期的に行い、各職員の能力や質の向上を目指していく。	
主な行事等		春：お花見 夏：夏祭り 秋：ハロウィン 冬：クリスマス					